

社会学と社会システム

問題 13 社会集団などに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 大衆とは、利害関心に基づき意図的に選択された集団のことである。
- 2 外集団とは、そこに属していないながら、帰属感や愛着心をもてない集団のことである。
- 3 アソシエーションとは、特定の目的を達成するための集団のことである。
- 4 ゲゼルシャフトとは、伝統的な地縁、血縁、友愛などによって形成された集団のことである。
- 5 準拠集団とは、敵意を持ち嫌悪や軽蔑の対象となる集団のことである。

問題 14 都市に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 サムナー(Sumner, W.G.)は、都市に特徴的な生活様式をアーバニズムとした。
- 2 ジンメル(Simmel, G.)は、都市では多様な下位文化が形成されたとした。
- 3 フィッシャー(Fischer, C.)は、都市を人間生態学的に分析した。
- 4 倉沢進は、都市は同心円状的に形成されたとした。
すず き えい た ろう じゅらくしやかい
- 5 鈴木榮太郎は、都市は結節機関を持つ聚落社会であるとした。

問題 15 「過疎関連法」及び「令和4年度版 過疎対策の現況」(総務省)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 2020年(令和2年)国勢調査時点の過疎地域の産業別就業人口割合は、第一次産業就業者数が5割を超えている。
- 2 2020年(令和2年)国勢調査時点の過疎地域の人口は、全人口の2割に満たない。
- 3 2023年(令和5年)4月1日時点の過疎地域の市町村数は、全市町村数の4割に満たない。
- 4 2020年(令和2年)国勢調査時点の過疎地域の高齢化率は、全国平均よりも低い。
- 5 過疎地域とは、人口減少率によって定義されてきた。

(注) 「過疎関連法」とは、現行の「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に至る一連の過疎関連の法律である。

問題 16 次の記述のうち、2022(令和4)年の国民生活基礎調査の結果(「2022(令和4)年国民生活基礎調査の概況」(厚生労働省))についての説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 1世帯当たり平均所得金額は300万円を下回っている。
- 2 現在の暮らしの状況が「大変苦しい」「やや苦しい」とした世帯は、50%を超えている。
- 3 相対的貧困率は20%を超えた。
- 4 子ども(17歳以下)の相対的貧困率は25%を超えた。
- 5 公的年金・恩給を受給している高齢者世帯の中で「公的年金・恩給の総所得に占める割合が100%の世帯」は、90%を超えている。

問題 17 差別や偏見に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 ゴッフマン(Goffman, E.)は、主に身体に付隨し、それが他者にとっての偏見を呼び起こす「印」として機能するものをステイグマと呼んだ。
- 2 オルポート(Allport, G.)は、民族的偏見を「誤った、柔軟性のない一般化に基づいた反感」と定義づけた。
- 3 リップマン(Lippmann, W.)は、人々の知覚や認識を単純化して理解することをダブル・コンティンジェンシーと呼んだ。
- 4 コールマン(Coleman, J.)は、政治・経済・軍事などの分野のトップが社会の権力を握るとするパワーエリート論を展開した。
- 5 ミルズ(Mills, C.)は、一次的逸脱と二次的逸脱という概念を用いて、逸脱的アイデンティティが形成されるメカニズムを説明した。

問題 18 災害時におけるレジリエンスの意味として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 災害の発生から復旧・復興に加え、次の災害に備えていくための諸活動を一つのサイクルとして捉えることである。
- 2 支援ニーズに対して支援者側から積極的に働きかけて情報や支援を提供することである。
- 3 被災者並びに被災地が被害から立ち直っていく際に持つ力のことである。
- 4 予期しない出来事に遭遇した際に、事態が悪化しているにもかかわらず楽観的な見方を維持する態度のことである。
- 5 大規模災害の後に一時的な現象として発生する理想郷的コミュニティのことである。